

# あおぞら



江戸川区立小松川中学校

第1学年

令和7年10月31日

第25号

## 📅 週の予定 11月3日～11月7日

月日	曜	で き ご と	1	2	3	4	給	5	6
11 / 3	月	文化の日							
11 / 4	火	6時間目：職業新聞清書 (7日締め切り)	①	②	③	④	○	⑤	⑥
11 / 5	水	区中研 ④カット45分授業 都内巡り参加確認書締め切り	道	②	③	⑤	○		
11 / 6	木		①	②	③	④	○	⑤	⑥
11 / 7	金	芸能祭学会 朝学習(よむ YOMU) 6時間目： 都内巡り係決め・コース決め	①	②	③	④	○	⑤	総

.....✕・き.....り.....と.....り.....✕.....  
《ひとことNo. 25》1年( )組( ) ( )  
掲載可否～( ) 掲載をご希望されない場合は ✕ をご記入ください。

## 「人は見た目が9割」

皆さんに伝えたいことはたくさんあるのですが、今日は4月当初に皆さんに話した「人は見た目が9割」の話を、4月とは別の角度からします。

私には中3の息子がいます。進学する候補を決めるために、最近は毎週のようにいろいろな高校に見学に行っています。家から通える高校は都立も私立もたくさんあり、それぞれに様々な特色があり、なかなか「ここだ!」という高校を決められずに親子で悩んでいます。

私立高校を受験するために、高校の先生と受験生と保護者の三者で「個別相談」というものを行います。今まで行った高校で必ず聞かれたことが二つあります。

一つは「部活動は何をしていましたか。」です。息子は中1の夏にサッカー部を辞めました。本人なりのいろいろな理由がありましたが、高校の先生から見たら「何を頑張ってきたのかな?」と思うことでしょう。息子はプログラミング教室に通って、コンテストに出たり作品を発表したり頑張っていました。でも、「中学校生活の中で何を頑張りましたか?」と聞かれると、「これです!」と言えるものはありません。

二つ目の質問は「欠席日数が多いですが、なぜですか。」です。息子は今現在、入学してから20日の欠席があります。熱を出しやすく、1年生では11日学校を休みました。それは仕方のないことです。

私立高校の「併願優遇」という制度を使うためには、9教科の評定以外に、欠席日数を基準に設ける学校があります。「3年間で欠席20日以内」という基準を設ける学校がとても多く、息子はあと1日休んだらこの制度を使えなくなる可能性があります。親子で、体調管理に気を配る毎日です。

この二つの質問から私が感じたことは、高校の先生が生徒の頑張りを見るのに、部活動等の活動や欠席日数といった「見た目で分かること」を使うことがあるということです。私たち教員は、毎日皆さんと接して、皆さんの良いところも課題も分かっています。でも、会ったばかりで生徒を判断する高校受験のような場合は、「見た目が9割」になることもあるということです。

皆さんはまだ1年生です。もし2年後に、息子と同じように質問されたら、頑張りや胸を張って答えることができるでしょうか。部活動でも、委員会でも、行事等の実行委員でも、勉強でも…中学校生活の頑張りどころはたくさんあります。もちろん頑張るのは高校受験のためではありませんが、結果として、そんな場面でも評価されたら嬉しいですね。

これからも皆さんの一生懸命な輝く姿を応援しています。そして、2年後に自分の希望の進路を実現することを願っています。

